

薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。

- ・よく考え、進んで学習する子ども
- ・いつも元気で、じょうぶな子ども
- ・こころ豊かで、やさしい子ども

さあ、開校一三〇周年を始めましょう

校長 井上光宏

歴史ある矢口小学校が開校一三〇周年を迎えました。令和三年度は、一〇二名という多くの新入生を迎え、全校児童五一四名、新四年生が二学級から三学級に増えたことで、全校十七学級で学習を進めていくことになりました。児童全員が本校の教育目標である「よ・い・こ」に育つよう、否、「よりよいこ」に大きく成長できるように、教職員全員で指導してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、ご案内の通り、一三〇周年の取組はすでに始まっております。昨年度の六年生を中心に、学校のスローガンは次のように決まりました。

一三〇周年おめでとう みんなで協力

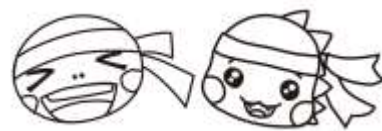
笑顔あいさつ 未来へつなげ！ 矢口魂

さらにPTAのスローガンは、

みんなで創ろう！矢口の未来！

と決まりました。どちらにも「未来」というキーワードが入っています。これは大変に深い意味があると私は感じています。教育基本法第一条の教育の目的には、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身とともに健康な国民の育成を期

して行わなければならない。」とあります。この人格の完成を目指すことも、必要な資質を備えた心身とともに健康な国民の育成をするにしても、すべては未来の大舞台に向かって生きる児童のためであるからです。
感染症流行の行く末がなかなか見えてこない状況が続いてはいますが、「この矢口の街」をあげて、一三〇周年の盛り上がりが続けられますよう、地域の皆様方にも、何らかの形で御参加いただけるような一年間にしていきたく願っております。



まずはこの四月、新しく誕生したスクールキャラクターの「やぐらん」とともに、航空写真の撮影を行います。五月には、保護者の皆様にも参観していただけるように工夫した形で記念大運動会を予定しています。そして開校記念日は六月一日です。夏季休業日には、オリンピック・パラリンピックの観戦で、辰巳国際水泳場や辰巳アクアテイクスセンターに行く予定にもなっています。一月は昨年度から延期した矢口芸術劇場（学芸会）を社会状況に合わせて行います。開校一三〇周年記念式典は一月二十七日（土）を予定しています。そのほかの児童活動や様々な取組すべてに「開校一三〇年記念」という冠を付けて、心に残る一年間としていきます。ご協力よろしくお願ひいたします。

薫泉学校からの流れ

次に本校同窓会（現・角田会長）からの未来計画を本学校便りに書き残しておきます。

矢口小学校としての本校は、一八九一年（明治二四年）六月一日が始まりですが、それ以前に、学校便り「薫泉」という題名の理由にもなっている「薫泉学校」の創立が本来の矢口小学校の始まりだという同窓会の思いがあります。それ

が一八七八年（明治十一年）です。この一八七八年を本校のスタートとして考えると、二〇二一年の今年が創立一四三周年になります。同窓会としては、薫泉学校創立一五〇周年のタイミング（二〇二八年）で、周年のカウントを修正したいという話が、ずいぶん前からあるということです。今後この計画が多くの調整と合意が得られたと仮定して、どのような流れになるか考えてみますと、次のようになることが想定されます。

- 二〇二六年 矢口小学校としての一三五周年
- 二〇二八年 薫泉学校からの一五〇周年を
矢口小学校として祝う。
- 二〇三三年 一五五周年
- 二〇三八年 一六〇周年

このことが本当に実現できるのかどうかは、現時点ではまったく分かりませんが、早い時期に話題にあげておくことで、これからの同窓会の皆様の記憶に残り、関係者による話し合いのきっかけになるように、あえて記事にさせていただきます。

いずれにしましても矢口小学校は、この矢口渡地域の伝統校であります。その誇りを胸に、今年度も進んでまいります。

学校からの緊急連絡は学校緊急連絡システム（緊急連絡メール）を利用して行っています。臨時の児童引き渡しや学級閉鎖のお知らせ、行事実施の可否に関わるお知らせなど、全校一斉にお知らせすべき内容を配信します。特別な場合を除き電話連絡による緊急連絡はいたしませんので、

◎ 全員の登録をよろしくお願ひいたします。